

## みんなの力で実現しました。

住民のみなさまのご支援、ご協力により次の取り組みが実現しました。

### 1. 子供や高齢者、障害者を大切にするまちづくり

- 学童保育を久礼、上ノ加江、大野見で開始しました。
- 町独自で保育料を軽減(年額2万4千円)しています。
- 町独自の子育て支援金(年額6万円)を支給しています。
- 元気な高齢者のための「元気塾」の拡大を支援しています。
- あったかふれあいセンター(高齢・障害者のつどい処)を久礼、上ノ加江地区に開設しました。
- よろず工房「愛」(障害者就労支援施設)を整備するなど、障害者の就労を支援しています。

### 2. 安心して暮らしやすいまちづくり

- 町道の島ノ川線(大野見奈路地区)、住吉線(久礼地区)、上ノ加江の目抜き通りや、県道の七子地区、押岡地区、志和地地区、小矢井賀地区の改良など道路整備を進めました。
- 上ノ加江地区での津波避難道路や排水路の整備など漁業集落環境整備事業を進めています。
- 久礼地区地震津波避難計画を策定し、避難場所、避難道路の整備を進めています。
- 大野見診療所を新設移転し、高度な医療機器を整備しました。
- 久礼地区に公営住宅、地域優良賃貸住宅を整備するなど、若者定住を推進しています。
- 消防車両の整備や機材の購入、2つの屯所の整備など消防設備・施設の充実を進めました。
- 大野見地区に防犯灯60基を整備しました。

### 3. 地域の資源を活かした産業のまちづくり

- 久礼漁協の移転による機能の強化、上ノ加江の漁業体験施設「わかしや」の整備、矢井賀漁協の観光釣りイカダの増設を支援しました。
- 水産資源の販路拡大を図るためスラリーアイス(マイナス1℃の粒状の水)の研究と市場調査の取り組みを始めました。

- レンタルハウス事業など新規就農者への支援をしています。
- 森の工場による林道整備の推進や協働の森事業による間伐の促進、CO2削減の取り組みを推進しています。
- 物産協会を設立し、町の特産品や食材の販路拡大を支援しています。

### 4. 心豊かな教育文化のまちづくり

- 全ての小中学校で学校給食を実施しました。
- 保育所、小中学校の耐震診断を実施し、改修工事を進めています。
- 相談員の設置や職員の加配により、不登校児童、障害児の健全な育成を支援しています。
- スポーツ大会、文化発表会、町展の実施や各種サークルを支援するなど、生涯学習の充実に取り組みしました。
- 全ての小中学校にパソコン教室を整備し、情報教育を推進しています。

### 5. 住民と行政の協働のまちづくり

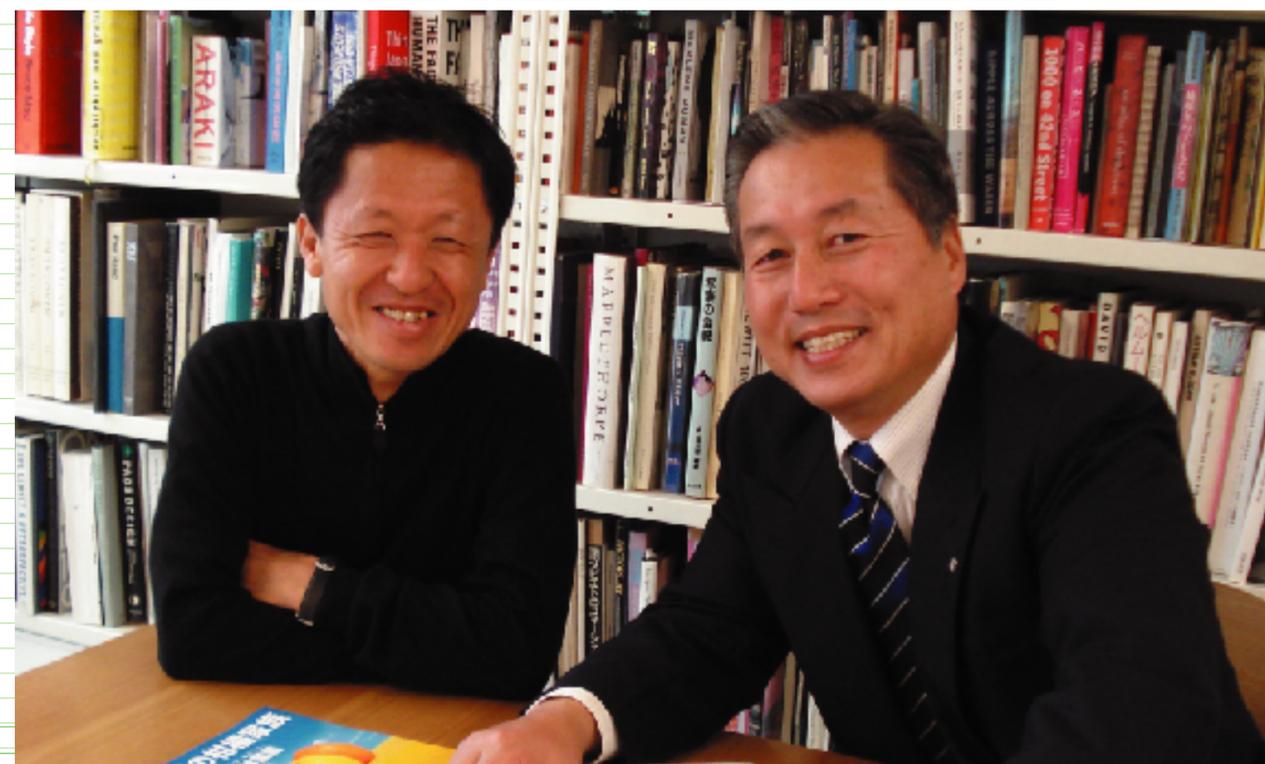
- 大野見北地区振興会や矢井賀を考える会の設立と活動を支援しています。
- かつお祭りやアメゴ釣り祭、大野見新米フェスタ、上ノ加江黒潮ふれあい祭りはじめ、各種行事の開催を通じて、まちづくりに対する住民と行政の意識の共有を図っています。
- 各地区でのイベントを通じた交流や研修旅行に町のバスを有効活用し、一体感の醸成を図っています。

### 6. 住民に信頼される効率的で健全なまちづくり

- 定員管理適正化計画を策定し、職員数の削減(H19.4.1:155人⇒H21.4.1:142人)と人件費の抑制を図っています。
- 有利な補助制度や起債の活用による、効果的な投資的経費の財源確保を図っています。
- 効率的で健全な財政運営によって町の預金である基金の総額は約40億円に増加しました。

## みんながしあわせ 安心のまちづくり

# 元気・笑顔・いきいき なかとさ



国際的に活躍しているアートディレクター水谷孝次氏とまちのビジョンを語る。

# 池田ひろみつ

いごう



皆様のご支援によりまして新中土佐町の初代町長に当選させていただきました。早4年の歳月が過ぎようとしています。私は、海の町と山の村の合併が「お互いの長所を伸ばし短所を補える」、そんな「住民が主人公のまちづくり」をめざして頑張っております。

具体的には、行政懇談会を始め、各種の会合や行事などを通して町民の皆様からいただいたご要望を基に、総合振興計画や行政改革大綱などを策定するとともに、各地域の生活に密着した重要施策を推進してまいりました。

これからは、国や県と築いてきたパイプや実績を基礎といたしまして、更に町の活性化を図るため全力で取り組んでまいります。

皆様におかれましては、どうか変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

池田ひろみつ後援会事務所 電話/FAX.0889-52-3995  
中土佐町久礼駅前町 E-mail h-ikeda@indigo.plala.or.jp

池田ひろみつ後援会報 発行責任者 林 深太郎

内部検討資料



学童保育にて

# 進めています。6つの「まちづくり」 必ず実現します。

## 1 子供や高齢者、障害者を大切に するまちづくり

- 新たに10億円の基金を合併特例債を財源として創設し、子育て支援・少子化対策をさらに充実させます。
- 保育料は、第3子は無料、第2子は半額にします。
- 中学生以下の医療費を無料化にします。
- 妊婦や子供などのインフルエンザ予防接種費用を無料にし、65歳以上の方などについては、自己負担が1,000円で接種できるよう助成します。
- 高校生の通学費(バス・JRの定期代)の半額を助成します。
- 高齢者や障害者の外出を支援するため、バスなどの交通費の支援を行います。
- 認知症高齢者グループホームや、特別養護老人ホームなどの介護福祉施設の整備を推進します。
- 大野見地区にあったかふれあいセンター(高齢・障害者のつどい処)を整備し、久礼地区、上ノ加江地区のセンター運営の支援とあわせて高齢者・障害者を地域で支え合う仕組みづくりを推進します。
- 大野見久万秋地区へ簡易水道のろ過池(浄水場)を整備します。

## 2 安心して暮らしやすい まちづくり

- 久礼、上ノ加江、矢井賀、大野見地区の町道や県道、下排水路の整備など、地域生活に密着した公共事業を進めていきます。
- 矢井賀地区、大野見地区へのヘリポートの整備や久礼・上ノ加江・矢井賀地区への津波避難施設、避難道路の整備など、災害に強いまちづくりを進めます。
- 各診療所の医師確保対策を推進します。
- 若者定住を推進するため、新たな町営住宅や定住団地を整備をします。
- 消防署、中土佐庁舎の整備計画を策定します。
- 自主防災組織の設立、育成の支援を進め、防災意識の向上を図ります。

## 3 地域の資源を活かした 産業のまちづくり

- 久礼新港への水産物加工施設の整備を支援します。
- スラリーアイス(マイナス1℃の粒状の水)を活用したカツオを始めとする水産物のブランド化と、都市圏への販路拡大を推進します。
- 沿岸漁業者のエンジンリース事業に支援をします。
- 大野見米や町産ヒノキのブランド化の確立に向けた取り組みを支援します
- 高知市へのアンテナショップ(直販施設)の開設を検討します。
- 小草ふれあい公園を活用した全国規模のイベントを誘致します。
- 中心商店街の空き店舗対策を推進します
- 森林の環境保全、間伐対策を推進するため、CO2排出量を売買する仕組み(J-V E R制度)を導入します。
- 地域の雇用対策を推進するため、緊急雇用創出臨時特例基金事業などの活用を進めます。



坂本龍一氏がカツオを絶賛

## 4 心ゆたかな 教育文化のまちづくり

- 放課後の教室を活用した中学生の学力向上対策を推進します。
- 久礼中学校を町産のヒノキをふんだんに使って改築し、子供たちの健全で人間性豊かな心を育む全国に誇れる100年建築の建物を整備します。
- 久礼小、上ノ加江小、上ノ加江中学校の耐震対策工事を行い、子どもたちが安心して学ぶことができる環境を整備します。
- 各図書室をより利用いただくため、蔵書の充実を図り、文化館図書室はリニューアルを行います。
- 久礼城跡、添蚯蚓(そえみみず)遍路道などの各種文化財の保全と活用に努めます。

## 5 住民と行政の協働の まちづくり

- 集落支援員制度を活用し、住民自治の推進を支援します。
- 町分、浦分、郷分、四万十川源流域の里分など、それぞれの地域特性を活かし、住民の皆様とともに持続可能なまちづくりを推進します。

## 6 住民に信頼される効率的で 健全なまちづくり

- 定員管理適正化計画を着実に実行し、職員数の削減(H19.4.1:155人⇒H23.3.31:135人)と人件費の抑制を進めます。
- 国、県と連携を密にした補助制度や各種基金を有効に活用し、健全な財政運営を推進します。
- 組織の統廃合を実施し、行政のスリム化を図ります。

### 略歴

昭和29年 11月20日 大野見村生まれ  
昭和52年 京都産業大学卒業  
平成 3年4月 中土佐町議会議員当選  
平成18年2月 新・中土佐町長就任

- 好きな言葉 道は開ける
- モットー 全力投球
- 趣味 スポーツ・音楽

## 池田町長に 期待しています

毎年厳しくなっていく漁業の現実をしっかり受け止め、「カツオの町中土佐町」を守ってほしい。洋光なら出来る!

久礼 漁業 坂上三男

「中土佐の子どもたちのために様々な努力をしてくれた池田さん。会うたびに子どもたちの将来に期待が持てる政策を語ってくれます。これからもよろしくお願いします。」

久礼 学童保育主任指導員 浪上亜妃

いつも気さくで心配りを感じます。地域が寂れないよう経験豊富な池田さんに続投していただきたいと思います。頑張ってください。

矢井賀 地域ボランティア 戸田和慧

誠実で誰にでも分け隔てなく接してくれます。地産地消をはじめ農業の振興と、若者が定住できるようなまちづくりに期待します。

上ノ加江 JA女性部 吉原恵子

「合併した町の町長として頑張ってくれています。1期では池田さんの真価が現れません。地域の発展と安定のため、引き続きのご活躍を心から願っています。」

大野見 地域ボランティア 正岡節子



アメゴ釣りな祭 いら投げ大会